



Performer+Composer Collaboration Series

# HASHIMOTO

## Shinya

### tuba

演奏家+作曲家コラボレーションシリーズ  
橋本晋哉チューバリサイタル+

LIVE STREAMING &  
ARCHIVE VIEWING

2023  
3/23

開場30分前

thu.19:00

Tokyo  
Concerts  
Lab.

主催 特定非営利活動法人 日本現代音楽協会  
(国際現代音楽協会日本支部)

後援 一般社団法人日本音楽作家団体協議会  
一般社団法人日本作曲家協議会

協力 洗足学園音楽大学

## ご挨拶

制作：佐藤昌弘

2010年より日本現代音楽協会では、1つの楽器に焦点をあて、その楽器の優れた演奏家と、本協会会員を中心とした作曲家たちとの協働による、レクチャーを伴った新作リサイタルを関西で開催してまいりました。この企画は2020年度より「演奏家+作曲家コラボレーション・シリーズ」と名称を改め、関西と東京でそれぞれの企画を開催することとして、本年度で3年目となりました。東京企画では、2020年度にサクソフォン奏者の大石将紀氏、2021年度に三味線奏者の野澤徹也氏をお招きして開催し、今般2022年度では、チューバ奏者の橋本晋哉氏をお招きしての開催となります。2022年9月2日に本企画協力の洗足学園音楽大学にて、橋本氏によるチューバについてのレクチャー（歴史、構造、奏法、記譜等）を行った後、本協会会員と一般からチューバ独奏、もしくはチューバとピアノの二重奏の新作を募りました。橋本氏、本協会の中川俊郎理事、私の3名で選曲委員を構成して協議した結果、公募作品より5曲（一般3、会員2）を選曲いたしました。これに選曲委員である中川理事と佐藤の2作品を加えて計7曲のプログラムとし、全曲新作初演となる本日のリサイタルを迎えた次第です。前回、前々回の東京企画と同じく、会場はTokyo Concerts Lab.で、ライブとインターネット配信のハイブリッドで開催いたします。本公演がチューバ作品の新しいレパートリーの拡がりに寄与することとなれば幸いです。

## ご挨拶

橋本晋哉

チューバのような比較的歴史の浅い楽器で演奏活動を続けていくにあたって（とは言っても既に200年弱の歴史があるのですが）、他の楽器に比べてときのそのレパートリーの狭さは死活問題と言ってよいテーマです。様々な音楽ジャンルで色々な試みが行われていますが、特に現代音楽においては、委嘱や公募によって新しいレパートリーが少しずつではありますが育まれてきました。

一般的に作曲家がその腕を振るうとき、その作品の演奏の難易度は技術的な意味において非常に上がります。素晴らしい作品が生まれる一方、そのような作品を演奏するためのスキル、経験を培う教育的機会はなかなか作ることができません（これは特殊奏法の習得が典型的ですが、金管楽器の作品については音域もキーポイントとなってきます）。今回この機会をいただいて、演奏時間や編成、難易度などなるべく幅を持たせて、今後教育や演奏会での再演の機会を増やしたい、という個人的な要望を、公募の要件に反映していただきました。果たして昨年9月のレクチャーを経て、本日バラエティに富む5作品に加えて選曲委員のお二人による素晴らしい新作も演奏させていただくこととなりました。これらの作品がこれからも広く再演され、多くの方々にお聴きいただく機会が増えていきますように。



# HASHIMOTO Shinya tuba

**橋本晋哉**：1971 年生まれ。2002 年第 5 回現代音楽演奏コンクール“競楽 V”第 2 位。東京オペラシティリサイタルシリーズ「B → C」、シュテルン《生贄》、ラッヘンマン《ハルモニカ》、スモルカ《チューバのある静物画または秘められた静寂》、細川俊夫《旅Ⅷ》、鈴木純明《1920》などにソリストとして出演。16 世紀フランス由来の古楽器セルパンやオフィクレイドを用いての古楽のジャンルでの活動も多い。「東京現音計画（第 13 回佐治敬三賞受賞）」「低音デュオ」のユニットで活動。洗足学園音楽大学講師。  
ウェブサイト⇒ <https://note.com/bashunity>

# Program

①天岡寛晋／夜想曲 チューバとピアノのための  
AMAOKA Hiroyuki/ NOCTURNE for Tuba and Piano  
作曲 2022 年／初演  
ピアノ：藤田朗子

②内垣亜優／チューバッ!バツ!  
UCHIGAKI Ayu/ Tuba! BA! for Tuba solo  
作曲 2022 年／初演

③前川貴雄／風鐸  
MAEKAWA Takao/ Futaku für basstuba und Klavier  
作曲 2022 年／初演  
ピアノ：藤田朗子

④伊藤高明／OBJECTS2357 for TUBA  
ITOH Komei/ OBJECTS2357 for TUBA  
作曲 2022 年／初演

—休憩—

⑤高嶋みどり／Howld for Tuba  
TAKASHIMA Midori/ Howld for Tuba  
作曲 2022 年／初演

⑥佐藤昌弘／Arietta  
SATO Masahiro/ Arietta  
作曲 2023 年／初演  
ピアノ：藤田朗子

⑦中川俊郎／“Twilight - Midnight Serenade” for Tuba and Piano  
NAKAGAWA Toshio/ “Twilight - Midnight Serenade” for Tuba and Piano  
作曲 2023 年／初演  
ピアノ：藤田朗子

①



天岡寛晋

夜想曲 チューバとピアノのための

作曲 2022 年 / 初演

AMAOKA Hiroyuki

NOCTURNE for Tuba and Piano

2022, premiere

題名の夜想曲は、序奏部 Lento のイメージから付けました。

跳躍するモチーフは何度も出て来ます。

序奏部の終わりに、チューバが次のテーマで現れ Fuoco へと続きます。

Adagio に入ると瞑想的なテーマが続き、Piano で Scherzo の断片的なリズムが現れると、チューバの B ♭ sfz で Adagio が終わります。

Scherzo では、ピアノの力強いリズムが続き、序奏部の反行による旋律が現れます。

coda に入るとチューバとピアノの激しい呼応があり、開放的に終結します。

**Profile** ▶ 鳥根県出。県立大田高等卒業後、一般企業に就職現在に至る。作曲は独学。2002 年・2003 年、ズーラシアンブラス作編曲コンクール「入選」。2003 年・2017 年、吹奏楽コンクール課題曲公募ファイナリスト。2021 年、第 31 回全日本作曲家コンクール「審査員賞」。2022 年、パールリボン作曲賞「準グランプリ」。主要作品は、「祈禱」フルート・オーボエ・チェロのための、吹奏楽のための「三つの小品」、吹奏楽のための幻想曲「山の陰」- 貝殻節の主題による、「潮騒-第一部」オーボエ・ダモーレとバンドのための協奏曲、他多数。

②



内垣亜優

チューバッ! バッ!

作曲 2022 年 / 初演

UCHIGAKI Ayu

Tuba! BA! for Tuba solo

2022, premiere

「チューバ」の語感が好きで、何気なく「チューバッ、チューバッバッ…」と呟いた。このリズム遊びのような感覚が気に入り、どうにかして曲に活かしてみたいと思ったことがきっかけで、この曲を作曲した。始めは、きっかけとなった呟きと同様に「チューバッバッ…バッ、チューバッ…バッ…」と実際に声に出して面白いと感じたリズムを書き留め、その後に音程や強弱などを当てはめていった。

「チュー」と「バ」には、それぞれの発音やイントネーションなどから、立ち幅跳びの「踏み切り」と「着地」に近いイメージがある。たったの 4 文字ではあるが、拗音と長音に始まり、右肩下がりの抑揚と濁音で締め括られるところに語感の良さを感じた。音楽でも、聴いて面白いと感じるものをつくるためにはフレーズのひとつひとつが「踏み切り」と「着地」をすることが重要になると考えた。先に組み立てたリズムを活かしながら、踏み切って着地をするフレーズのあらゆるパターンを作品に落とし込んだ。

**Profile** ▶ 愛知県名古屋生まれ。愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻作曲コース 3 年在学中。同大学にて、第 54 回及び第 55 回定期演奏会、第 54 回作曲作品演奏会に出演。第 8 回日本国際合唱作曲コンクール第 3 位。これまでに作曲を成本理香、小井洋明の各氏に師事。

③

## 前川貴雄 風鐸

作曲 2022 年 / 初演

MAEKAWA Takao

Futaku für basstuba und Klavier

2022, premiere



(鐸碑に刻まれた四行詩)

中世末期、東部シベリア禁制地帯の廃村  
流浪僧が開基した鐘楼に釣り下がる銅鐸  
動力が失われた鐘群は時を告げる事も無く  
不意に風の到来を告げるのみ

冒頭の和音主題は音域を変えて亡霊のように三度出現する。As 鐘を交えつつ、F 音が執拗に吹き鳴らされた後に、LowF に向かって音列が開始する。

これはピアノによって空間的に彩色される。和音主題、息音、F 鐘を背景にした微分音、As 鐘が再帰して Hi D に向かって音列が再開する。

和音主題と息音によって短い観想行を終える。

書き終えてみると、意図したわけではないが、スペクトル楽派に接近してしまったようにも思われる。今回の編成で書いた収穫であろう。

**Profile ▶** 1973 年、青森県八戸市出身。奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第 25 回、第 27 回入選。ノイズ絶対主義への盲従から音程構造による生産性を放棄した、瞬発的なフリージャズと沈黙を混交した様な書法が主流となった現在の状況に異を唱え、調性離脱派に対峙する拡張派のスタンスから相対的ノイズの可能性を追求し続けて、ポストラッケンマン世代の最右翼？最左翼？はたまたダークホース？と目されているとかいないとか。

④

## 伊藤高明

### OBJECTS2357 for TUBA

作曲 2022 年 / 初演

ITOH Komei

OBJECTS2357 for TUBA

2022, premiere



この作品は、様々な音楽的オブジェを時間の流れに配置するというイメージで制作しました。タイトルに示された数 2.3.5.7 をモチーフとして持続その他に利用しています。全体はおおむねシンメトリックな構造となっています。このように骨格は極めて理性的に構築していますが、表層をかたちづくる種々の音楽的な選択や決定は感覚的判断に基づくものも多く、情念にも訴え得る世界を企図しています。尚、制作にあたっては9月に催された橋本氏のレクチャーに触発された発想や氏の卓越した技術により可能となる表現などを多数使用しており、今回の拙曲の採用ともども心より感謝申し上げます。

**Profile ▶** 1961年、東京生まれ。玉川大学芸術学科卒業、作曲を土居克行氏に師事。第5回国立劇場作曲コンクール優秀作品賞(1位)ならびに文化庁舞台芸術創作奨励特別賞受賞。第8回現音作曲新人賞等入選。東アジアの現代音楽祭、あいちトリエンナーレ、パンミュージックフェスティバル等数々の音楽祭において作品が演奏されている。現音の音楽展を中心に現代音楽のフィールドでも活動しているが、近年は地域のアマチュアバンドのための吹奏楽作品やヒーリング音楽も手がけるなど幅広い領域で作品を発表している。日本現代音楽協会会員。

⑤

高嶋みどり

Howld for Tuba

作曲 2022 年 / 初演

TAKASHIMA Midori

Howld for Tuba

2022, premiere



講談や落語のように、こわいろ（声色）や語り口を変えて一人で何役も演じ、ストーリーを展開していく演劇スタイルがあります。この曲では、Tuba をある動物に見立てて、特殊奏法などを駆使した色々な鳴き方や吠え方で感情の変化を表現してストーリーを展開していこう、と考えて作曲しました。超絶技巧が要求されてかなりの難曲となりましたが、橋本晋哉氏に初演していただけることを、とても嬉しく存じております。どんな動物が、どんな気持ちで吠えているのか、想像しながら楽しんで聴いていただけると幸いです。

**Profile** ▶ 東京芸術大学、及び同大学院作曲科修士課程修了。主要作品は、管弦楽曲のための、Baby Universe I.II.III. と Baby Universe IV ~ ピアノと管弦楽のための 等。

⑥

佐藤昌弘

Arietta

作曲 2023 年 / 初演

SATO Masahiro

Arietta

2023, premiere



曲は、演奏時間 8 分ほどのチューバとピアノの二重奏による小品で、タイトルに示唆しましたように旋律的な性格をもつ作品です。チューバとピアノのそれぞれには、曲中に何度も現われる主題があります。チューバの方の主題の冒頭 3 音は、E-F-B という音の順で上行する音型ですが、これは武満徹の作品でお馴染みの海の音型 (Sea = Es-E-A) を半音上げたものに他なりません。一方、ピアノの主題の冒頭 4 音は、As-G-E-C という音の順で下行する音型で、増三和音と長三和音が重なり合ったようなものとなっています。

**Profile** ▶ 1987 年東京芸術大学音楽学部作曲科を首席で卒業後、1990 年同大学大学院音楽研究科作曲専攻修士課程を修了。同年第 12 回日本交響楽振興財団作曲賞入選。1991 年第 1 回芥川作曲賞ファイナリスト。1992 年 NHK 第 61 回日本音楽コンクール作曲部門（オーケストラ作品）第 3 位入賞（1 位なし）。1998 年第 20 回日本交響楽振興財団作曲賞入選。現在、洗足学園音楽大学・大学院教授、日本現代音楽協会理事、川崎市文化芸術振興会議委員。近作に《Correspondances Flûte et Piano》(2020)、《Un Mouvement pour Violon Solo》(2021)、《Piano Quintette》(2022) 等がある。

⑦



中川俊郎

## “Twilight - Midnight Serenade” for Tuba and Piano

作曲 2023 年 / 初演

NAKAGAWA Toshio

## “Twilight - Midnight Serenade” for Tuba and Piano

2023, premiere

タイトルは、日没後と日の出前の薄明かり、そして真夜中という3つの時間に奏でられる恋歌(または他楽章形式の肩の凝らない音楽)という意味を持っている。また「セレナード」自体に「夜」が伏在しているから、結局は両端が薄い陽光にグラデーションされている長い夜を表している「夜の音楽」だということもできよう。全体は通常なら1曲に収まることのないはずの異なる様式(私は、ここではかなり控えめに言っている…)の7つの楽章から出来ている。第3楽章は特に『セニョリーナ・エレファンティウス』と名付けられている(笑?)。「夜」というキーワードからは第6楽章でのシューベルト、チャイコフスキー、ショパンの引用も導かれる。ところで、少し前に橋本さんと藤田さんの驚嘆すべきリサイタルを聴いた。様々な時間の錬磨を経てきた後に到達する「自然」「自在」と喩えるにふさわしかった。今宵のリサイタルでも、僭越だがそれぞれの作曲家の過ごしてきた時間と橋本さんたちの「自然」とが、寄り添い、意義のある時間が生まれることだろう。この先行きの見えない夜の時代に、少しでも…。

**Profile** ▶ 桐朋学園大学作曲科卒業。作曲を三善晃、ピアノを末光勝世、森安耀子各氏に師事。「Music Today' 82」国際作曲コンクール第1位、1988年村松賞、2010年第28回中島健蔵音楽賞、他受賞。日本現代音楽協会理事、日本作曲家協議会常務理事、お茶の水女子大学非常勤講師。

## 共演者プロフィール

### 藤田朗子 (ピアノ)

▶ 1975年生まれ。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を経てパリ国立高等音楽院伴奏科、同第3課程修了。「秋吉台の夏」現代音楽セミナー、軽井沢国際音楽祭、両国アートフェスティバル等に出演。室内楽・新曲初演で国内外の演奏家と共演及びCD録音に参加している。東京藝術大学音楽学部ソルフェージュ科及び共立女子大学講師。



## 特定非営利活動法人日本現代音楽協会(国際現代音楽協会日本支部)入会のお誘い

**日**本現代音楽協会(通称 現音)は1930年に「新興作曲家連盟」として発足し、以来、音楽文化の創造と、作曲家の社会的地位の確立を目的として、創作の振興、現代音楽の普及、現代音楽の国際交流、人材の育成等を推進してきました。また、50を超える国や地域に支部を持つ世界唯一の作曲家の団体「国際現代音楽協会(ISCM)」の日本支部としての活動も行っており、毎年、各支部持ち回りで開催される〈世界音楽の日々〉音楽祭でも日本支部が推薦した作品が入選・上演されています。

**現**代の日本では、クラシックの演奏活動が注目を浴びている一方で、現代の芸術音楽の創造に対する一般の関心は、残念ながら決して高くありません。そのために、現代日本の作曲家たちの旺盛な創造力が次々と新しい音楽を生んでいるにも拘らず、それらの作品の演奏者や聴衆への普及が著しく滞っています。

こうした現状を受けて、現代音楽作曲家の創造を刺激・促進し、同時に、演奏家と聴衆の関心を高める活動を積極的に行うことが不可欠だと考え、2019年4月、特定非営利活動法人として新たな一歩を踏み出しました。法人化に伴い、**作曲家ではない方も会員となることが可能になりました**。これまでの経験を踏まえ、作曲家の創作支援を基盤にしつつ、できるかぎり広範な演奏家と聴衆との協同を図り、より公益性の高い活動を推進し、現代の音楽文化発展により効果的に寄与すべく、より広く活動を行っていきます。

**芸**術音楽分野の作曲で活躍を目指している若手作曲家の皆さん、すでに作曲活動を積み上げてこれながらも、さらなる活動の場の拡大や、国内外の現代音楽の情報の共有に必要性を感じておられる作曲家の皆さん、そして同時代の芸術音楽を愛好する皆さん、特定非営利活動法人日本現代音楽協会(現音)に入会しませんか。どうぞ、私たちと一緒に現代の芸術音楽シーンを支え、盛り上げる仲間になってください。

### ▼会員の種類

#### ●正会員(年会費4万円/36歳以上)

主催演奏会やレクチャーなどに無料で入場できるほか、総会等会議での議決権、理事等役員選挙の選挙権、被選挙権などを得られるほか、会報やメールマガジンなどをお送ります。

#### ●ユース正会員(年会費2万円/35歳以下)

会費以外は上記の正会員と同様。年度更新時(4月1日)の年齢が36歳に達していた時点でユース正会員の資格は終了し、自動的に正会員に移行します。

#### □会友(年会費1万円)

主催演奏会やレクチャーなどに無料で入場できます。

### 作曲作品発表資格について

協会主催・共催する演奏会等において自作品の発表を希望する会員には「作曲作品出品資格認定審査」を設けています。正会員、ユース正会員のみが審査を受けることができ、以下の提出物が必要です。

- ・ 所定の申込書
- ・ 自作の作品スコア2曲以上、楽譜がない作品の場合には、音源等。できるだけ編成の違うものが望ましい。
- ・ 作品が演奏された公開演奏会のチラシ等のコピー

審査は審査委員会が行い、審査委員会は理事全員によって構成されます。一度資格が認定されると、在籍中、同資格は自動的に継続されます。

### ■お申込み・お問い合わせ・資料お取り寄せ

特定非営利活動法人日本現代音楽協会 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-19-6-2F

TEL: 03-6417-0393 FAX: 03-6417-0394

e-mail: gen-on1930@jscm.net web: www.jscm.net

# 会 員 名 簿

2023年3月現在

## 名 誉 会 員

三枝 成彰	篠原 眞	坪能 克裕	松永 通温
佐藤 眞	下山一二三	福士 則夫	湯浅 讓二

## 正 会 員

青嶋 広志	菊池 幸夫	三枝木宏行	中島 克磨	深見麻悠子	桃井千津子
赤石 敏夫	北爪 道夫	佐藤 昌弘	中島 洋一	福井とも子	森垣 桂一
赤石 直哉	北爪やよひ	渋谷 由香	中辻早百合	福田 陽	森田泰之進
浅野 藤也	木下 大輔	嶋津 武仁	なかにしかかね	藤原 嘉文	守屋 祐介
天野 正道	木下 牧子	清水 昭夫	中村 明一	北條 直彦	諸橋 玲子
池田 悟	木山 光	清水 研作	中村 滋延	北條美香代	安田謙一郎
石田 匡志	楠 知子	鈴木 純明	中村 典子	星谷 丈生	安良岡章夫
和泉 耕二	国枝 春恵	ゼミソン・ダリル	名倉 明子	堀 悦子	柳田 孝義
板津 昇龍	久保 禎	平良伊津美	成本 理香	堀切 幹夫	山内 雅弘
出田 敬三	倉内 直子	高嶋みどり	新垣 隆	蒔田 尚昊	山崎 一繁
伊藤 高明	栗原 邦子	高仲 広	西尾 洋	トーマスマヤ=フイービット	山中千佳子
伊藤 弘之	栗本 洋子	高橋 雅光	新田 祥子	正門 憲也	山本 成宏
植野 洋美	郡司 敦	高橋 克行	二宮 毅	増本伎共子	山本純ノ介
宇野 文夫	高 昌帥	高橋 理文	二宮 玲子	松尾 祐孝	山本 裕之
梅川 令子	糺場富美子	高見富志子	野崎勇喜夫	松岡 貴史	横島 浩
梅北 直昭	甲田 潤	田鎖大志郎	野澤 啓子	松波匠太郎	菜 孝之
遠藤 雅夫	河内 琢夫	田口 雅英	野平 一郎	三上 次郎	ロクリアン正岡
大慈弥恵麻	河野 敦朗	橋 晋太郎	法倉 雅紀	水野みか子	渡辺 俊哉
大谷 千正	小島有利子	田中 範康	萩 京子	三角千恵子	
大野 和子	小林 聡	田中 均	橋本 信	見澤ゆかり	
奥田 美穂	小林 治樹	田丸彩和子	早川 和子	南 聡	
小坂 直敏	小山 和彦	塚本 一実	久田 典子	南川 弥生	
甲斐 直彦	木幡由美子	土屋 雄	久留 智之	峰村 澄子	
門脇 治	近藤 浩平	露木 正登	久行 敏彦	宮木 朝子	
金子 仁美	近藤 讓	土井智恵子	飛田 泰三	三宅 榛名	
鎌田 実	近藤 春恵	徳永 崇	平野 義久	三宅 康弘	
神長 貞行	佐井 孝彰	外山三保子	深澤 舞	宮崎 滋	
河添 達也	斉木 由美	中川 俊郎	深澤 倫子	村田 昌己	

## ユース正会員

伊藤 彰	大平 泰志	谷川 倫子	松本悠理香
井上 渚	紺野 鷹生	増田 建太	柳川 瑞季

# 役員・組織

2023年3月現在

## 役員

理事長	近藤 謙				
副理事長	森垣 桂一	福井とも子			
事務局長	渡辺 俊哉				
理事	赤石 直哉	金子 仁美	北爪 道夫	糀場富美子	近藤 謙
	佐藤 昌弘	坪能 克裕	露木 正登	中川 俊郎	福井とも子
	福士 則夫	松尾 祐孝	森垣 桂一	森田泰之進	山内 雅弘
	山本 裕之	渡辺 俊哉			
監事	三枝木宏行	正門 憲也			

# 維持会友名簿

2023年3月現在

## 法人会友

(公財)NHK交響楽団	尚美学園大学	ブレーン(株)
(株)音楽之友社	(学)洗足学園	プロフェッショナル・パーカッション
(株)河合楽器製作所	桐朋学園大学	
国立音楽大学	日本大学 芸術学部	
(公財)サントリー芸術財団	フェリス女学院大学 音楽学部学会	

## 個人会友

安部 淳	古木康太郎	田原 順子	本多 健二	吉村 七重
池口 敬子	越野 修輔	戸石 文哉	前田 壽一	米田 栄子
池田 建夫	小島 順一	徳岡 紀子	松井 滋	若林みち子
池田須枝子	小島 幸雄	徳澤 姫代	松尾 信子	
伊藤 周	佐多 光春	中嶋 香	松永加也子	
井上 二葉	佐野 光司	中野 洋子	松本 静子	
岩瀬 龍太	佐山 一通	中畑 秋恵	松本 卓以	
及川 夕美	篠木 洋子	中村 和枝	間部 令子	
大須賀かおり	首藤健太郎	西崎 俊典	三浦 尚之	
大間々 昂	新海 立子	伴野 龍弥	水野佐知香	
甲斐 史子	鈴木 良	ピアノデュオ・ドゥオール	水野 淳	
勝田 聡一	瀬山 詠子	廣川 雅夫	宮澤 裕夫	
神長 祥枝	高久 暁	福田 隆	村田 厚生	
北川 暁子	高澤 穰	藤井 一興	山口 賢治	
木村かをり	田島 亘	藤本 隆文	楊 麗貞	
木村 弓	田中 信昭	北條 哲男	吉村 仁	

作曲家＋演奏家コラボレーションシリーズ

---

発行

2023年3月

特定非営利活動法人日本現代音楽協会(国際現代音楽協会日本支部)

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-19-6-2F

TEL■03-6417-0393 FAX■03-6417-0394

E-mail■gen-on1930@jscm.net Website■www.jscm.net

PRINTED IN JAPAN